

芸術文化発信の拠点「絹谷幸二 天空美術館」 来館者10万人突破

積水ハウス株式会社が2016年12月から設立・運営している「絹谷幸二 天空美術館」(梅田スカイビルタワーウエスト27階)の来館者数が、2019年3月1日(金)に10万人を突破しました。

「絹谷幸二 天空美術館」は、芸術文化振興による社会創造を目指し、梅田スカイビルに新しい芸術文化発信の拠点として誕生しました。

おかげさまで国内はもとより海外からも数多くの方にご来館いただき、また小中学校の課外授業の場としても活用され、年間来館者数は初年約3万人、2年目約6万人と来館者数を伸ばし、2年2カ月で10万人を突破するに至りました。

現在は開館2周年記念特別展示「夢見るカ〜空想大劇場」を開催中(2019年6月10日まで)。絵の中に飛び込む3D映像体験も新作を加えた2本立て上映となり、アフレスコ(壁画の古典技法)をはじめとする色彩豊かな絵画・立体作品の数々の展示、アフレスコ体験のワークショップ、教育普及活動など、引き続き芸術文化の発信拠点として、取り組んで参ります。



■ 10万人目の来館者(写真中央)のコメント ■

荒木亜希子様(大阪府豊中市在住)

「ヨガの先生がこちらの美術館をすごく良いと言っていたので、楽しみにして来ました。本日、作品を観て壁画の美しさ感激しました。これは美術館で実際に観てみないとわからないものだと肌で感じました。」

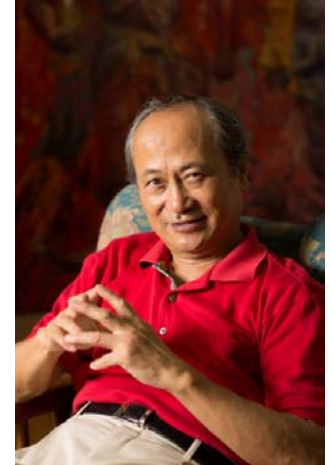
向かって左から、名誉館長の絹谷幸二氏(画家)、10万人目の来館者 荒木亜希子様、館長の内田隆(積水ハウス株式会社 代表取締役副社長)

絹谷幸二氏より

「世界的に有名な梅田スカイビルに美術館があることをうれしく思います。個人画家の美術館として2年2カ月という早い期間で10万人に届くことは珍しいことなので、とても感謝しています。今度は20万人目の方にもお越しいただけるように、これからも美術館を盛り上げていきます。」

◆ 絹谷 幸二（きぬたに こうじ）氏

1943年 奈良県出身。東京藝術大学大学院壁画科修了後、ヴェネツィア・アカデミアに留学。アフレスコ（壁画の古典技法）を修得し独創的なスタイルを確立する。1997年「銀嶺の女神」長野冬季五輪公式ポスター原画を制作するなど、半世紀に亘って日本の現代画壇をリードし後進の育成にも尽力。現在、東京藝術大学名誉教授、日本藝術院会員。2014年文化功労者として顕彰。アフレスコの国内第一人者。



©海田悠

◆ 「絹谷幸二 天空美術館」 <http://www.kinutani-tenku.jp>

2016年12月、世界的に話題の「梅田スカイビル」内にオープンした最新型ミュージアム。世界初となる絵の中に飛び込む大迫力の3D映像体験や、アフレスコをはじめ絵画や彫刻の数々を展示し、絹谷ワールドを存分に楽しめる絹谷幸二氏初の単独美術館。58作品を公開中（2018年12月21日現在）。

遊び心満載のワークショップやアトリエスペース、快適空間のカフェなどを併設し、眺望も抜群な美術館。



館内 天空カフェ



ワークショップスペース

【開館時間】 10：00-18：00、金曜日・土曜日・祝前日は10：00-20：00

（入館は閉館の30分前まで）

【休館日】 火曜日（ただし祝日の場合は開館し翌平日が休館）、

年末年始、展示替え期間

【入館料】 一般1000円、大学・高校・中学生600円、小学生以下無料、団体・障がい者割引あり

【所在地】 〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビル タワーウエスト27階

【お問い合わせ】 06-6440-3760（開館時間内）